

027  
467  
1

解  
林  
二  
五  
丁



127  
447  
1

東京知交  
第 11477 號  
書 圖

二札  
11477  
058

11477  
058

四六二  
三

紅花とらへる尾何の鳥々なり  
あけまの果あるおヶ淡とふ  
おあろみもおのれ志は人  
ありとの〜探さるるも  
の婦ささ杖もを 筆もほ  
ひよらけをあれぬ様を

菴かのきり

ほろろの好懐乃釣魚  
と口すまゝに遊〜起り〜と  
ろ能おま〜とんととをうれい  
字知りきたれ故のら〜何〜の  
なほ〜ら〜と〜い侍まよ

茶あけとまゝ茶碗な〜と  
うはよ何れと毎酒ま〜と  
な〜と三子〜と〜の〜か  
とまの〜と〜と〜と  
ま〜と句〜と集能 借  
と〜と〜と紙の書に志は

一 海川の舟を乗れりしを  
とひてのちまゝに舟もよりの  
りけおくかのこ

夏 改五

むし

田舎

〜の好

九月廿一日 小倉

公乃す川 阿久

げこののちめくさ

雪 辰代

佐

信 木

これより日志

壺 日

玉 壺

信の夕涼

全

家ノリツル日沙の事トク  
海息してマシムル事トク  
うそをふかきつゝ

程自阿リヤル乃止の石川を築

津一石をとりつる沙の粒

松乃事名を利人を通

昔乃事ふらむ道志川

知れ身かこゝを事ふ事

忘るお船や舟の事

昔も是れをさつ外小波の鳴

閑文

但志

車草

貫子

沙去

古律

芦涯

古角お船を物系怒

世乃中ハ漢序の煙の吹

馬也相老ふる引き

跡小一もそつた大田

月くゝ朝ふ本朝ハ風

残子さく菴生おま

予ハ川の瓶子海に

朝日お日和をさつ

ち、海乃懐

白袋

さく

魁方

魯去

龍文

均終

分風

梅子

五方

定々たる花もさうと云ふは  
竹見平、田子、玉子、藤系、斗宿

一略

後いしはさうさく

夏もれやん、心のおすし、庵、白壁  
世菴、四月、も、む、き、わ、く、  
花乃月、幸、只、福、清、花、  
り、不、定、く、茶、菴、の、さ、く、く、  
る、く、く、く、  
何月

く、小、雲、一、菴、子、若、此、也、  
燈、の、花、子、平、た、る、菴、乃、花、う、  
り、小、一、さ、り、花、若、若、人、庵、く、  
夕、露、の、恒、小、さ、り、花、若、土、車、  
涼、く、さ、ら、く、く、く、  
泊帆

す、く、く、く、  
の

吟をよみてくまのつゝありし時を 東平 完本

ほろつきんをけりし水やうつる スレ 可譽

杜宇なくや茶樹の橋より 櫻 琴糸

あゝの香をけりしより ハハハ 斗宿

アホのよき 五永 井

全ハ

宿校嘆く庭をかたけ 東平 若男

人考ふ 五永 双鳥

ふれり 五永 心聲

汲けりし月らん 五永 吟路

去り 五永 幾行

梢より 五永 草曲

阿彌 五永 四山

全ハ

あゝ 五永 尺艾

う 五永 吳江

月 五永 魏王

碎 五永 阿

藤尾の寄道きしん改をる ほろ 遊雅

百多新とふあふすふ猿除 燈山

すぬやまお京より門田より 甲斐 一可也

くわく

一ッふし降子ふふ一梅の花 才格 一燈屋中

初女か子阿方くさふもと取のま 宇就

去明りも才ひる一踏牛 子念

燈介くさあふ暗を月日は 巴洗

子荒く一かひかきやんさき 古碓

横道荒れ月やうんこき ぶ角

たよりもやもふさくは娘とめ 教古

と加の新小社乃鏡まき廻る 一燈尾

あゝハ

海山やうね春風浪たの文四の 格テ 玉屑

ほ川まろく書かきくさくさ 格テ 布巾

伊勢武志の阿くはみ細付 格テ 阿丸

アキキさきさき文とまゝくさく 格テ 吟路

いね張のくさく伊勢やま 格テ 竹子



桂犬うい杉くねええ木水様ふ 歡路

生美酒ういさく飲く仁家うう 李の

春牡丹や細き様ういひささる 草古

水香の上ういさくういさくういさく 林社

空の戸もういさくういさくういさく 梅屋

口切やういさくういさくういさく 雨人

春花を

梅く梅くういさくういさく 春節

松のむらういさくういさくういさく 冬毫

清い川つりさくさくういさく 芦風

術汲くういさくういさくういさく 如友

病ふもくういさくういさくういさく 梅斜

研くういさくういさくういさく 古光

風くういさくういさくういさく 竹枝

鳴くもくういさくういさくういさく 寺門

行くもくういさくういさくういさく 秋産

春花を

くぬはきふん<sup>何</sup>きさく<sup>子</sup>ぬ<sup>子</sup>あふ<sup>子</sup> 常定  
野鳥<sup>何</sup>こ<sup>子</sup>や<sup>子</sup>都<sup>子</sup>き<sup>子</sup>ぬ<sup>子</sup>夕<sup>子</sup>の<sup>子</sup>産<sup>子</sup> 何丸  
人<sup>何</sup>り<sup>子</sup>と<sup>子</sup>阿<sup>子</sup>と<sup>子</sup>わ<sup>子</sup>と<sup>子</sup>鐘<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>の<sup>子</sup>時<sup>子</sup> 今丸  
鈴<sup>何</sup>の<sup>子</sup>啼<sup>子</sup>や<sup>子</sup>や<sup>子</sup>あ<sup>子</sup>ら<sup>子</sup>あ<sup>子</sup>ふ<sup>子</sup>松<sup>子</sup>原<sup>子</sup> 玉井

くさくさ  
る<sup>何</sup>り<sup>子</sup>く<sup>子</sup>て<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>さ<sup>子</sup>さ<sup>子</sup>さ<sup>子</sup>る<sup>子</sup>月<sup>子</sup>表<sup>子</sup> 芦雁  
々<sup>何</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup>や<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup>し<sup>子</sup>さ<sup>子</sup>の<sup>子</sup>春<sup>子</sup> 担月  
陽<sup>何</sup>光<sup>子</sup>や<sup>子</sup>さ<sup>子</sup>さ<sup>子</sup>さ<sup>子</sup>ぬ<sup>子</sup>柳<sup>子</sup>け<sup>子</sup>き<sup>子</sup> 古棠  
田<sup>何</sup>植<sup>子</sup>た<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>は<sup>子</sup>柳<sup>子</sup>え<sup>子</sup>の<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup>が<sup>子</sup> 河長

一<sup>何</sup>曲<sup>子</sup>の<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup>な<sup>子</sup>る<sup>子</sup>山<sup>子</sup>か<sup>子</sup>ぶ<sup>子</sup>う<sup>子</sup>る<sup>子</sup> まをる房松年 柳社  
ま<sup>何</sup>ろ<sup>子</sup>格<sup>子</sup>の<sup>子</sup>け<sup>子</sup>り<sup>子</sup>目<sup>子</sup>さ<sup>子</sup>り<sup>子</sup>良<sup>子</sup>山<sup>子</sup> 氣行  
仲<sup>何</sup>西<sup>子</sup>乃<sup>子</sup>斜<sup>子</sup>か<sup>子</sup>り<sup>子</sup>や<sup>子</sup>柳<sup>子</sup>細<sup>子</sup> 里松  
ま<sup>何</sup>ま<sup>子</sup>枝<sup>子</sup>あ<sup>子</sup>れ<sup>子</sup>の<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup>小<sup>子</sup>舟<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup> 吟風  
ま<sup>何</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup>一<sup>子</sup>刻<sup>子</sup>離<sup>子</sup>乃<sup>子</sup>酒<sup>子</sup>十<sup>子</sup>は<sup>子</sup>是<sup>子</sup>免<sup>子</sup> 巴松  
ま<sup>何</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup>や<sup>子</sup>宿<sup>子</sup>全<sup>子</sup>の<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup>面<sup>子</sup> 尼 嵐市  
何<sup>何</sup>海<sup>子</sup>も<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup>海<sup>子</sup>苔<sup>子</sup>の<sup>子</sup>ま<sup>子</sup>り<sup>子</sup> 尼 斗月  
海<sup>何</sup>市<sup>子</sup>や<sup>子</sup>伝<sup>子</sup>り<sup>子</sup>時<sup>子</sup>ふ<sup>子</sup>一<sup>子</sup>時<sup>子</sup> 女 胡蝶

ちんちんの田植小まゝなまが、みまろ  
行も得とちとつぬて九川、さく川  
床乃画水不ニとが、若狭餅、<sup>あめ</sup> 浮和  
免形やん、とす、とす、とす、とす、  
花ハ七日之妻、され月の足、  
月

れくの月

居るふ月、さく、さく、さく、さく、  
さく、さく、さく、さく、さく、  
百、百、百、百、百、百、百、  
陸、方

松、く、く、く、く、く、く、く、  
さく、さく、さく、さく、さく、  
菫の井、れ月、級、され月、え、く、  
さく、級、や、月、く、く、く、く、  
さく、さく、さく、さく、さく、  
名、く、や、身、お、さく、さく、さく、  
お、夕、と、さ、向、く、さ、終、や、朝、の、夕、  
生、線、の、迷、い、歩、け、や、さ、の、月、  
お、洞、川、小、い、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、  
路、平

ふちく戸跡さへくや好の月 五支  
またくふふふさうちく好の月 凡 好歌

秋の字あはさくれを

あはさづのまゝれむさ記海ノ秋の風 旧玉  
船何くくさる乃たのこ小秋の風 冬月去  
秋秋いふ胡ふタもふさくく 燈籠  
と秋乃秋柳の秋秋さきく 多子推  
あはさづのまゝれむさ記海ノ秋の風 兔薨  
あはさづのまゝれむさ記海ノ秋の風 舟人

あはさづのまゝれむさ記海ノ秋の風 月時  
あはさづのまゝれむさ記海ノ秋の風 卯

同もたれ

あはさづのまゝれむさ記海ノ秋の風 舟人  
ここの月や麻月のうたの山乃地 若二  
あはさづのまゝれむさ記海ノ秋の風 離文  
あはさづのまゝれむさ記海ノ秋の風 乾屋舎  
あはさづのまゝれむさ記海ノ秋の風 柳亭  
川板の音よすく更ふ田毎水 木久

さかすかおとろくさくまなうり  
酒母  
つらなまきつりさしりさつ村さく  
春草  
みづやまの清やうねる柳花  
そと  
よまゆさむ麻二あゝおあゝ  
紀柳  
いし川原やまのとり勢身もあ  
一季  
わさささささささささささ  
松月  
さささ

木さのハ

晴吟のつらさやま柳 松月  
朝顔やゆいれりあまはる  
山雀

草花や甲のハささねりわ戸 鬼彦  
朝顔のむさささささささ 阿九  
城ささささささささささ 小太夫  
鬼灯や女さささささささ 金巻  
川ささささささささささ 勢  
まのさささささささささ ぶさ  
ささささささささささ 一志  
夕日かたれ替あつささささ 鬼彦  
色かたさささささささ 小太夫  
ささ

三才乃ガクハ

三乃トシハもの〜船乃三才

信む 二柳

〜〜手〜〜や吹送〜〜廿日月

廿六

か〜水〜山〜川〜流〜世〜第〜九〜垣〜主

五六

流〜十〜三〜第〜九〜垣〜主

吟送

志〜第〜九〜垣〜主

四里伴 主と柳子

く〜〜

老漢〜〜〜

原〜〜〜

月屋

こ子船や艾〜〜と初何り

伊勢 獲子

〜〜海〜〜〜

北栄

牙掃〜〜

牙行

〜〜もの〜〜

女 矢風

跡ふ故乃〜〜

矩傳

志〜〜川〜〜

歡路

流〜〜新〜〜

又 東島

揚善和〜〜

吟送

天人地

皇天何々々々々々々々々々

道々々々々々々々々々

明々々々々々々々々々

力々々々々々々々々々

子之川

再々々々々々々々々々

閑文

再々々

僅云

御作諧書林

京三條通寺町西

廿菊舎太兵衛

